



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 太平製作所
コード番号 6342 URL <http://www.taihei-ss.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神谷 慎二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 桂山 哲夫

TEL 0568-73-6411

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,749	64.7	444	664.8	448	576.7	265	—
27年3月期第3四半期	3,491	47.2	58	—	66	—	11	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 257百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 12百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	19.74	—
27年3月期第3四半期	0.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
28年3月期第3四半期	6,652	—	3,452	—	51.9	257.18		
27年3月期	10,821	—	3,275	—	30.3	243.98		

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 3,452百万円 27年3月期 3,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	6,900	29.1	300	27.4	310	27.4	185	43.3	13.78	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	15,000,000 株	27年3月期	15,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	1,575,888 株	27年3月期	1,575,788 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	13,424,207 株	27年3月期3Q	13,424,470 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・企業収益においては引き続き緩やかな回復基調が見られましたが、個人消費や輸出面において一部に弱さも見られるなど、景気回復の力強さを欠く状況で推移いたしました。世界経済におきましても、中国をはじめとする新興国経済の下振れリスクや、原油価格等の下落、テロなど地政学的リスクの影響も懸念され、依然として先行き不透明な状況であります。

当社を取り巻く事業環境は、2020年東京オリンピック関連施設において、木材の積極採用が提言されるなど明るい話題もありますが、市場に与える影響が不透明なことや、住宅着工戸数の回復には力強さを欠く状況など、依然として先行き不透明感が強く、設備投資に対する見方も慎重なものとなっております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の当社グループは、営業を中心とした販売活動と機械の開発活動に注力した結果、売上高は5,749百万円（前年同四半期比64.7%増）となりました。利益につきましては、売上増加が寄与し営業利益は444百万円（前年同四半期比664.8%増）、経常利益は448百万円（前年同四半期比576.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は265百万円（前年同四半期比253百万円増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①合板機械事業

合板機械事業は、積極的な営業活動と機械の改良改善に注力した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,936百万円（前年同四半期比86.2%増）、営業利益は466百万円（前年同四半期比313.2%増）となりました。

②木工機械事業

木工機械事業は、積極的な営業活動による売上増加に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は962百万円（前年同四半期比53.6%増）、営業利益は70百万円（前年同四半期比437.2%増）となりました。

③住宅建材事業

住宅建材事業は、営業エリアを拡大するなど積極的な営業活動に注力した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は862百万円（前年同四半期比14.9%増）となりました。営業利益につきましては、受注競争が熾烈さを増し受注単価が低下したことに加え、円安による輸入部材価格の上昇等の影響から、14百万円（前年同四半期比33.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて48.2%減少し、4,555百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2,006百万円減少、仕掛品が1,659百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.3%増加し、2,097百万円となりました。これは主に、有形固定資産が70百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて38.5%減少し、6,652百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて61.3%減少し、2,723百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,446百万円減少、前受金が2,867百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7.0%減少し、476百万円となりました。これは主に、長期借入金が16百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて57.6%減少し、3,200百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5.4%増加し、3,452百万円となりました。これは主に、利益剰余金が184百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、住宅着工戸数も少しずつ上向きとなりつつありますが、本格的な回復には程遠く、業界内での設備投資は慎重な姿勢が続く事が予想されます。

このような状況の中、従来とは違う木材の活用や、新たな機械の開発に取り組むとともに、営業を中心とした販売活動の促進や現状の機械の改良改善に努め、受注確保から売上計上まで安定して行えるよう日々努力しておりますが、新たな機械の開発には時間を要する事、当社の主力合板機械事業での大型機械は全て受注生産であることから、受注から売上に至るまでには長期間の納期が必要であることや、得意先の都合で機械が納入できないといった要因等もあり、現状困難な状況であります。

当社グループは、このようなリスクを出来るだけ少なくするように努めるとともに、顧客ニーズに対応した機械の開発・改良に取り組み、得意先の設備が安全に稼働出来るようなバックアップ体制の構築に努めるなどグループ一丸となって経営の安定化に取り組んでまいり所存であります。

連結業績予想につきましては、平成27年11月13日に開示しました予想より変更等はありません。

なお、連結業績予想等につきましては、当社グループが現時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以降実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,804,466	2,798,118
受取手形及び売掛金	1,150,222	737,996
有価証券	100,000	—
製品	—	126
仕掛品	2,376,443	716,655
原材料及び貯蔵品	193,926	199,290
その他	167,617	110,306
貸倒引当金	△1,610	△7,058
流動資産合計	8,791,066	4,555,437
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	641,985	636,587
土地	689,746	689,746
その他(純額)	203,288	279,072
有形固定資産合計	1,535,020	1,605,406
無形固定資産	64,245	56,302
投資その他の資産		
その他	431,518	442,844
貸倒引当金	—	△7,433
投資その他の資産合計	431,518	435,410
固定資産合計	2,030,784	2,097,120
資産合計	10,821,850	6,652,557
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,247,259	800,964
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	133,400	83,400
未払法人税等	89,000	108,761
賞与引当金	91,191	33,443
役員賞与引当金	31,200	15,600
前受金	3,490,960	623,825
その他	201,138	307,573
流動負債合計	7,034,148	2,723,568
固定負債		
長期借入金	33,200	16,500
繰延税金負債	114,628	99,982
役員退職慰労引当金	12,100	12,963
退職給付に係る負債	168,846	157,358
その他	183,582	189,646
固定負債合計	512,357	476,451
負債合計	7,546,506	3,200,019

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	77,201	77,201
利益剰余金	2,619,953	2,804,530
自己株式	△205,701	△205,723
株主資本合計	3,241,453	3,426,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,890	26,530
その他の包括利益累計額合計	33,890	26,530
純資産合計	3,275,344	3,452,538
負債純資産合計	10,821,850	6,652,557

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	3,491,378	5,749,972
売上原価	2,885,146	4,674,670
売上総利益	606,232	1,075,301
販売費及び一般管理費	548,049	630,344
営業利益	58,182	444,957
営業外収益		
受取利息	629	778
受取配当金	3,468	3,811
鉄屑売却収入	1,954	1,613
保険解約返戻金	3,996	2,231
その他	8,497	3,290
営業外収益合計	18,546	11,725
営業外費用		
支払利息	9,636	7,815
その他	767	37
営業外費用合計	10,404	7,852
経常利益	66,325	448,830
特別利益		
固定資産売却益	—	349
特別利益合計	—	349
特別損失		
固定資産除売却損	2,174	—
特別損失合計	2,174	—
税金等調整前四半期純利益	64,150	449,180
法人税、住民税及び事業税	9,538	140,339
過年度法人税等	—	28,485
過年度法人税等戻入額	△4,469	—
法人税等調整額	47,581	15,233
法人税等合計	52,650	184,057
四半期純利益	11,499	265,122
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,499	265,122

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	11,499	265,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	750	△7,360
その他の包括利益合計	750	△7,360
四半期包括利益	12,250	257,761
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,250	257,761

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	2,114,041	626,432	750,904	3,491,378
セグメント間の内部売上高又は振替高	125	—	—	125
計	2,114,167	626,432	750,904	3,491,504
セグメント利益	112,779	13,083	21,419	147,281

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	147,281
全社費用(注)	△89,099
四半期連結損益計算書の営業利益	58,182

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	3,936,831	962,452	850,688	5,749,972
セグメント間の内部売上高及び振替高	28	—	12,031	12,059
計	3,936,860	962,452	862,719	5,762,032
セグメント利益	466,051	70,284	14,349	550,685

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	550,685
全社費用(注)	△105,727
四半期連結損益計算書の営業利益	444,957

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。